

# 蓮はすの宇宙

## 安藤礼二

編・  
解題

写真・細江英公

編・解題は、気鋭の文芸評論家  
安藤礼二氏（『折口信夫』『光の曼陀羅』）による。

松山の人となりと業績について、  
巖谷國士、澁澤龍子、坪内祐三、  
礪崎純一（国書刊行会）諸氏が語る——しかり 葉封入。

仕様 A5判上製 514ページ+葉 16ページ  
装幀 間村俊一  
定価 9,000円+税  
ISBN 978-4-7783-1491-0  
発売日 2016年8月10日  
発行 太田出版

# 松山俊太郎



貴重な論考が満載！

『松山学』の集大成。

画期的な業績を編んだ

代表的かつ

仏教学、インド学上の

伝説の碩学・松山俊太郎。

独自の学問を築き上げた

無限をおそれぬ探求の果てに、

ボードレール、そして蓮――。

インド、法華経、





「ウォーン」

と犬の遠吠え。だんだん近づいてくる。

「あっ、松山さんだ！」

「こんばんは、イヌです」

とニタッと笑って、着物姿の松山さんが  
玄関に入っていらっしやると、  
まだ準備中ですがこのままお正月に突入です。

「さようなら、松山俊太郎さん」

—— 澁澤龍子

Ryuko Shibusawa

マジで私は松山さんが

百歳になっても  
元気で酒を飲んで  
いるだろう

と思っていた。

松山さんが百歳の時、私は七十二歳。

一緒に酒を共にしたかった。

「松山俊太郎さんと私の少しの縁」

—— 坪内祐三

Yuzo Tsubouchi

葉より

百万年かかる

松山さんが

といていた「蓮の研究」は、ある種の連続性の  
体現・実践でもあったのだろう。

蕾も生まれていることだし、

松山さんにとって松山さん自身の

死は何ほどの  
ことでもない。

「白蓮図」

—— 巖谷國士

Kunio Iwaya

「松山大人の文章を纏めた一冊を作ろうぜ!」と  
大盛り上がりになり盛り上がり、  
それがきっかけで生れたのが  
『綺想礼讃』という本なのである。(…)

ソクラテス、孔子、  
キリストとともに、  
決して本をつくらない

哲人として、松山さんの存在は  
われわれ編集者の間では伝説化されていた。

「綺想礼讃秘話」

—— 磯崎純一 (国書刊行会)

Junichi Isozaki

## 【目次】

### I インドの詩と性愛

愛蓮餘滴

インドの香り

インド・古詩 シュリンガーラ・ティラカ

蓮から「さかしま」に

漢語の愛について インドにおける愛の思想・序説

〈愛〉の意味・〈愛〉の言語

インド古詩抄 鄙の恋・都の恋(訳)

中世天竺 恋愛八十相(解説・訳・注)

インド古典芸術における「女主人公(ナーイカー)」の分類

インド古典と現代日本

タゴール、大インドの人格化

### II 蓮の神話学

わが到り得ぬ日蓮

ロータスの環

仏典における信ずるべからざる部分のおもしろさ

法華経と無熱惱池および蓮華上仏

アパダーナと法華経

ヴィシュヌ神とアヴァターラ

古代インド人の宇宙像

インドの回帰的終末説

華嚴経の宇宙

一閻台のマンダラ

### III 幻のインド

—— 講演・インタビュー・対談・座談

講演 「芸術として見た仏典」

インタビュー 「蓮を究める」

対談 輪廻転生

—— 死の思想の源流を探る(鈴木清順)

共同討議 なぜボードレールか

(出口裕弘・渋沢孝輔・阿部良雄)

対談 読みかけのページ

—— 「少年倶楽部」の余白への夢(寺山修司)

対談 蓮華宇宙を語る(松岡正剛)

ほか ・ 解題(安藤礼二) ・ 年譜(丹羽蒼一郎)

・ 書誌目録

著者

# 松山俊太郎

Shunro Matsuyama

一九三〇年—二〇一四年。

東京生まれのインド学者、幻想文学研究者。

一九五一年、東京大学教養学部文科二類（現在の文科三類に相当）に入学。

一九五三年、文学部印度哲学科に進学し、

サンスクリット文学（サンスクリット語）を専攻。

同大学院修士課程（印度哲学専攻）修了。

サンスクリット学者として蓮を研究。

著書に『インドを語る』『蓮と法華経』『綺想礼讃』、

訳書に『タントラ』（フリリップ・ローソン著）などがある。

また、『小栗虫太郎傑作選』の編集・校訂を担当。

澁澤龍彦と深く交流し、

『澁澤龍彦全集』『澁澤龍彦翻訳全集』の編集委員を務めた。



編・解題

## 安藤礼二

Retji Ando

一九六七年、東京都生まれ。

文芸評論家、多摩美術大学美術学部准教授。

早稲田大学第一文学部卒業。

出版社を経て、二〇〇二年『神々の闘争 折口信夫論』で

群像新人文学賞優秀作を受賞、批評家としての活動をはじめ。

二〇〇六年、『神々の闘争 折口信夫論』で芸術選奨文部科学大臣新人賞を受賞。

二〇〇九年、『光の曼陀羅 日本文学論』で大江健三郎賞と伊藤整文学賞を受賞。

二〇一五年、『折口信夫』で角川財団学芸賞とサントリー学芸賞を受賞。

他に、『近代論 危機の時代のアルシーヴ』場所と産霊 近代日本思想史』

『祝祭の書物 表現のゼロをめぐる』などの著作がある。



書店様印・番線

松山俊太郎 蓮の宇宙を  冊注文します。

定価：9,000 円＋税 ISBN：978-4-7783-1491-0

お名前

ご住所

太田出版

〒160-8571 東京都新宿区愛住町22 第3山田ビル4F  
Tel 03-3359-6262 Fax 03-3359-0040